



全国シンポジウムの様子(12月開催)

(特非) 気候ネットワーク

2050年 低炭素ビジョン 実現プロジェクト

一般助成

2年目

知識の提供・
普及啓発

自団体の
メディア掲載数

70回

参加者アンケート
(5点満点)

4点

活動の全体目標に
対する達成度

65%

課 題

NPO・NGOによる2050年温室効果ガス削減シナリオの実現性や達成のための道筋が明らかになっていないことから、その土壌づくりを推進させる活動を行うこと。

活動内容

地球温暖化問題が深刻化する中で、市民の理解を広げるとともに、マスメディアや政策決定者に対して、削減シナリオを軸とした具体的な対策と政策に関する情報提供と意見交換の場を設ける。また先進事例をとりまとめて情報発信等を通じて、2050年温室効果ガス的大幅削減へ向けた道筋を明確化へとつなげる活動を実施している。



気候変動の脅威について
キリパスより

今後の課題

発行した冊子「脱炭素地域のつくりかた パリ協定担い手のためのリファレンス」の内容について拡げていく必要がある。また、大幅削減に向けた道筋をより具体化し、政策転換につなげていきたい。

成果と工夫した ポイント



成果

参加者アンケートにおける評価がおおむね高評価であり、当初の目標である5点満点中、平均4点を達成することができた。情報提供においては、適切なタイミング、内容で実施できたと思われる。

工夫

シンポジウムは、他分野とも連携し、幅広い分野で議論を行った。今後も、ネットワークの強化を図りたい。